



研究活動一覧

「研究活動一覧」は当所研究員の研究活動と研究内容や関心分野を読者の皆様にタイムリーに提供することを目的としています。研究内容の詳細につきましては直接担当研究員までお問い合わせ下さい。

【研究論文および雑誌記事等】

研究員名	表 題	発表誌、巻・号	発表年月
相川良彦（共著）	元気な高齢者の地域人口分布とJAの高齢者対策	高齢者が農業、農村地域に果たす役割の影響分析（行政対応特別研究「高齢者」プロジェクト研究資料）	2005. 7
相川良彦	高齢化集落における農家家族——理論的検討と長野県松本市集落調査報告——	高齢者が農業、農村地域に果たす役割の影響分析（行政対応特別研究「高齢者」プロジェクト研究資料）	2005. 7
相川良彦	課題と構成	山村留学の現状と課題——平成15年度全国アンケート調査報告書——（ライフスタイルプロジェクト研究資料4）	2005. 8
相川良彦	山村留学に対する留学生の意識	山村留学の現状と課題——平成15年度全国アンケート調査報告書——（ライフスタイルプロジェクト研究資料4）	2005. 8
會田陽久（共著）	切り花消費の数量分析	日本農業市場学会 2005 年度大会報告要旨	2005. 7
會田陽久	日韓の製粉産業の比較	第41回東北農業経済学会宮城大会報告要旨	2005. 9
明石光一郎	食品に関する新技術の普及と企業・家計部門の対応	第41回東北農業経済学会宮城大会報告要旨	2005. 9
明石光一郎	食料生産基地移動が環境へ及ぼす影響	平成17年度日本農業経営学会研究大会報告要旨	2005. 9
市田知子	BSE後のドイツの食肉トレーサビリティ——制度と実態——	食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ（第2集）（危機管理プロジェクト研究資料3）	2005. 7
市田知子	直接支払いの方向と課題——EUの先例から学ぶ——	耕（山崎農業研究所）105	2005. 7
市田知子	ドイツの農業・農村体験とその支援策——「農場で学ぼう」（Lernen auf dem Hof）の実態調査から——	農業と経済 71(8)	2005. 7
市田知子	EU 農政改革と農業環境政策の方向——ドイツの事例から——	平成17年度日本農業経営学会研究大会報告要旨	2005. 9
井上莊太郎	沖縄甘しゅ糖業の現状と課題	2005 年度日本農業経済学会大会報告要旨	2005. 7
上林篤幸	The UN Scenarios of Population Increase up to 2030, and the Forecasts of World Grain Market, by Using the GGMPM (Global Grain Market Pilot Model)	2005 年度日本農業経済学会大会報告要旨	2005. 7
江川 章	多様化する農業への新規参入	DAIRYMAN 55(7)	2005. 7
江川 章	農業経営と農業労働管理の基礎	農業経営・労働管理専門家養成講座テキスト	2005. 8
岡江恭史	ベトナム農協の新潮流——首都近郊農村における畜産専門農協の事例より——	2005 年度日本農業経済学会大会報告要旨	2005. 7

研究員名	表 題	発表誌、巻・号	発表年月
小野智昭	大島町農業の展開過程と今後の展望 ——みかん農業と高齢複合農業——	農に還るひとたち——定年帰農者と その支援組織——（農協共済総合研 究所・田畑保共編、農林統計協会）	2005. 8
香月敏孝	はくさいの生産・輸入等の動向に係る実態 調査	野菜情報 17	2005. 8
金子いづみ	集落営農の労働力構成とその特徴	2005 年度日本農業経済学会大会報 告要旨	2005. 7
川崎賢太郎	GTAP モデルおよび CGE モデルの解説	FTA と食料——評価の論理と分析 枠組——（鈴木宣弘編、筑波書房）	2005. 7
川崎賢太郎	GTAP モデルによる日タイ FTA および日韓 FTA の分析	FTA と食料——評価の論理と分析 枠組——（鈴木宣弘編、筑波書房）	2005. 7
河原昌一郎	中国の食品安全制度と畜産物のトレーサビ リティ	食料・農業の危機管理に関する社会 科学的アプローチ（第2集）（危機 管理プロジェクト研究資料3）	2005. 7
木下順子（共著）	東アジアにおける生乳自由貿易の影響分析	FTA と食料——評価の論理と分析 枠組——（鈴木宣弘編、筑波書房）	2005. 7
久保香代子・ 吉井邦恒	規制インパクト分析のフレームワークとコ メのカドミウム吸収抑制対策に関する費用 分析	食料・農業の危機管理に関する社会 科学的アプローチ（第2集）（危機 管理プロジェクト研究資料3）	2005. 7
小泉達治	中国における燃料用エタノール推進計画の 実態と課題 ——とうもろこし需給に与える影響——	2005 年度日本農業経済学会大会報 告要旨	2005. 7
小島泰友	砂糖・甘味資源作物のフードシステムに関 する実証分析——糖価調整制度下における 甜菜直播の導入促進効果の試算——	2005 年度日本農業経済学会大会報 告要旨	2005. 7
小島泰友	産地品種別自由米の銘柄間価格差に関する 定量分析——基準銘柄の選定と銘柄間価格 差の発生確率をめぐって——	平成 17 年度日本農業経営学会研究 大会報告要旨	2005. 9
近藤 浩	米国農務省食品安全検査局の食品安全行政 について	食料・農業の危機管理に関する社会 科学的アプローチ（第2集）（危機 管理プロジェクト研究資料3）	2005. 7
鈴木由紀	食の安全と安心、および食の情報に関する 消費者意識調査	食料・農業の危機管理に関する社会 科学的アプローチ（第2集）（危機 管理プロジェクト研究資料3）	2005. 7
鈴木由紀	食の安全と安心、および食の情報に関する 大学生意識調査	食料・農業の危機管理に関する社会 科学的アプローチ（第2集）（危機 管理プロジェクト研究資料3）	2005. 7
須田文明	フランスにおける青年の就農政策の重要性	高齢者が農業、農村地域に果たす役 割の影響分析（行政対応特別研究 「高齢者」プロジェクト研究資料）	2005. 7
高橋克也（共著）	青果物のトレーサビリティにおける情報伝 達に関する一考察	農林業問題研究 158	2005. 6
高橋克也（共著）	産地行動の視点からみた果樹経営安定対策 の経済性	農業情報研究 14(3)	2005. 9
高橋克也	フードチェーンの情報ニーズと情報開示 ——情報の非対称性のノンパラメトリック 検定——	平成 17 年度日本農業経営学会研究 大会報告要旨	2005. 9
高橋祐一郎	わが国における市民参加型テクノロジー・ アセスメント（pTA）の展望について	食料・農業の危機管理に関する社会 科学的アプローチ（第2集）（危機 管理プロジェクト研究資料3）	2005. 7
高橋義文・林 岳 （ほか共著）	農林業の環境負荷と多面的機能を考慮した 新たな持続可能性評価手法に関する研究	2005 年度日本農業経済学会大会報 告要旨	2005. 7
高橋義文（共著）	LCA を用いた低投入型酪農の環境影響評価 ——北海道根釧地域のマイペース酪農を事 例として——	システム農学 21(2)	2005. 8
立川雅司・井上莊 太郎・千葉 典	諸外国における組換え農産物の生産・流 通・消費動向及びフードシステムに及ぼす 影響の解明	遺伝子組換え体の産業利用における 安全性確保総合研究（研究成果 428、 農林水産省農林水産技術会議事務局）	2005. 3

研究員名	表 題	発表誌, 巻・号	発表年月
立川雅司	EU加盟国における遺伝子組換え作物と非組換え作物との共存方策の動向	農業生物資源研究所研究資料 5	2005. 8
樋口倫生	韓国における重化学工業化政策の効率性分析	韓国経済研究 5	2005. 8
福田竜一	OECDと農水省の取り組み	食料と安全 10(8)	2005. 8
福田竜一	農産物輸入関税割当制度改革の効果と影響——アメリカの牛肉輸入関税割当制度での試算——	平成17年度日本農業経営学会研究大会報告要旨	2005. 9
藤 栄 剛	農林漁業におけるマッチング関数の推定	2005年度日本農業経済学会大会報告要旨	2005. 7
藤 栄 剛 (共著)	堆肥運搬・散布サービスと堆肥供給組織の特徴との関係	第58回九州農業経済学会大会報告資料	2005. 9
藤 栄 剛	農村共有資源管理メカニズムと多面的機能——農業集落による農業用排水路管理を一例として——	平成17年度日本農業経営学会研究大会報告要旨	2005. 9
藤岡典夫	遺伝子組換え作物をめぐる貿易紛争とWTO協定	貿易奨励会第4回研究報告書	2005. 7
松久 勉	高齢化の特徴と農業従事日数に占める割合——2000年農業センサスの分析——	高齢者が農業, 農村地域に果たす役割の影響分析 (行政対応特別研究「高齢者」プロジェクト研究資料)	2005. 7
松久 勉	東北における人口移動の動向とその要因	第41回東北農業経済学会宮城大会報告要旨	2005. 9
柳 京熙 (共著)	韓国における育苗事情——育苗センターの事例分析を通じて——	野菜情報 16	2005. 7
吉井邦恒	アメリカの直接支払いについて	月刊 NOSAI 57(7)	2005. 7
吉井邦恒	アメリカの農業保険制度について	月刊 NOSAI 57(8)	2005. 8
吉井邦恒	新たな経営安定対策と収入変動	第41回東北農業経済学会宮城大会報告要旨	2005. 9
吉井邦恒	カナダの農業経営安定対策について	月刊 NOSAI 57(9)	2005. 9

【口頭発表および講演】

講演者	演 題	講演会名	発表年月日
市田知子	EU 農政改革と農業環境政策の方向 ——ドイツの事例から——	海外農業政策に関する講演会（海外 農業政策研究会（農林水産省））	2005. 7.20
市田知子	EU 農村地域開発と LEADER プログラムの 実際	農林水産省農村振興局事業計画課主 催勉強会	2005. 8.23
伊藤正人	フランス農業法の改正	海外農業政策に関する講演会（海外 農業政策研究会（農林水産省））	2005. 9. 7
河原昌一郎	輸入食品の安全確保対策 （中国野菜を例として）	新神戸事業所落成および協会創立 55 周年記念シンポジウム （日本冷凍食品検査協会）	2005. 7. 8
小林茂典	野菜の用途別需要の変化と今後の対応	平成 17 年度普及指導員研修 （栃木県経営技術課）	2005. 7. 8
高橋克也	The Changing Consumer Lifestyle and Food Industry in Japan	Annual Meeting of Korean Society of Food Science and Technology (KoSFoST), Seoul, Korea Republic	2005. 6.16
高橋義文	エコロジカル経済学の理論と実証に関する 研究	定例研究会 （滋賀大学大津サテライトプラザ）	2005. 9. 6
西尾 健	Statistics and Policy Reform on Japanese Agriculture	Global Club of Directors of Agricultural Economic Research Institutes 6th Meeting	2005. 8.23
西尾 健	PRIMAFF and Research on Food Safety	RIKLT-Institute of Food Safety (Wageningen UR)	2005. 8.24
林 岳・高橋義文 ほか	Does Agriculture Achieve Sustainable Development? : An Application of the NAMEA and the Ecological Footprint	19th Pacific Regional Science Conference, Nihon University College of Economics, Tokyo, Japan	2005. 7.27
吉井邦恒	アメリカ・カナダの経営安定対策について	海外農業政策に関する講演会（海外 農業政策研究会（農林水産省））	2005. 7.13
吉井邦恒	新たな経営安定対策について	職員研究会（NOSAI 宮城）	2005. 9. 1
渡部靖夫	遺伝子組換え作物・食品をめぐる国際的な 情勢	食料安全保障研究会公開セミナー （アフリカ日本協議会）	2005. 7.23
渡部靖夫	Diversified Situations of Biosafety Regulation in Countries in the World	遺伝子組換え農作物のリスク評価管 理法に関する研修会 (FAO アジア太平洋事務所)	2005. 7.26